

学年 図工科

		時数	学習目標
		2	<p>【関心・意欲・態度】 自分の思いを持ち、進んで表現活動を楽しみ、つくりだす喜びを味わおうとすることができる。</p> <p>【発想や構想の能力】 感じたことや考えたことなどをもとに想像力をはたらかせながら自分らしい発想をし、よさや美しさなどを考え、豊かな表現をすることができる。</p> <p>【創造的な技能】 表したい思いや意図に応じて、技能を生かして表し方を工夫することができる。</p> <p>【鑑賞の能力】 かいたり作ったりしたものの造形的なおもしろさなどに気づいたり、楽しく見たりすることができる。</p>
		4	
5	てるてるぼうずづくり (六年生へ) でてきたできた ねんどでたしざん	2 4 2	
6	たのしいなすごいな こっちにおいでよ たのしいかざり	4 2 2	
7	せんであそぼう ウキウキドキドキ	2 4	
9	きょうかしよびじゅつかん どんだんならべて はこハコはこ	2 2 2	
10	えのぐあそび みて、みて、おはなし	4 6	
11	おもしろいかたちいっぱい たのしいなすごいな	2 4	
12	ニョキニョキ コロコロ	8	
1	ペタペタペタン	4	
2	おめでとう 1ねんせい さくひんぶくろづくり	3 2	
3	さくひんせいり	1	
年間授業時数		68	
学習方法の工夫	○造形活動の材料は、児童の身近にあるものを取り上げるようにします。一人ひとりが自分の思いで活動を進めることができるようにし、その子らしい表現の試みを認めるようにします。 材料や用具、活動場所については、事故防止に十分配慮します。		
評価の工夫	○作品だけでなく、造形活動の過程においても評価します。造形活動に意欲的に取り組んでいるか、自分の発想を意識して表現しているか、自分の思いついた方法で表現しているかなどで評価します。 ○作品については、思いや意図、形や色の工夫、材料の生かし方などにより、多角的に評価します。		